

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。



発行所 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟  
電話代表 086-271-7175  
F A X 086-271-4815  
郵便振替岡山01230-9-3532  
発行責任者 岸本 清美  
編集責任者 豊島 始 男  
印刷所 西尾総合印刷株式会社  
定価 (郵税共) 年額1,200円  
ホームページ <http://izoku-okayama.jp/>

# 遺族処遇改善要望事項の完全実施を求め 11月16日に岡山県戦没者遺族代表者大会

財務省は8月30日、平成26年度政府予算の各省庁からの概算要求を締め切った。各省庁から提出された一般会計の概算要求額は、これまでで最大の99兆2千億円程度となる。安倍政権が成長戦略などによる経済再生・デフレ脱却を掲げていることなどを追い風に、各省庁とも強気の増額要求が目立った。麻生財務大臣は「経済成長と財政再建の双方を目的として、メリハリを付けた予算にするように努めたい」と述べている。年末の予算決定まで予算確保を目指す各省庁と、無駄な予算の削りこみを図る財務省とのせめぎ合いが続くと予想される。

遺族会においても、厳しい財政状況の中、年末の予算編成に向けて更なる陳情運動を展開しなければならないが、日本遺族会では予算編成期前の12月19日(木)に全国戦没者遺族大会を開催し国会陳情を行うことにしており、本県においても11月16日(土)に岡山県戦没者遺族代表者大会を開催し、総理の靖国神社参拝実行と共に遺族処遇改善要望事項の周知と完全実現を訴えることにしている。各支部においても、遺族会の要望事項が平成26年度政府予算に完全計上されるよう、地元選出自民党国会議員に理解と協力を得る陳情をお願いする。概算要求に計上されている遺族会関係項目は下表のとおり。

## 1. 恩給法関係

総務省人事・恩給局は、恩給を支給するための必要経費として、次の通り概算要求をした。

◎恩給支給に必要な経費 (単位：百万円)

本年度予算額	概算要求額	比較増減
478,696	417,534	△ 61,161
	(4,175億3,400万円)	

(注) 恩給受給者数 (互助年金を含む)  
(25年度) (26年度) (対前年度増減)  
恩給受給者 631千人 → 565千人 △ 66千人

## 2. 厚生労働省関係 (恩給に関連する遺族年金等を除く)

(1) 遺骨帰還等関係

本年度予算額	概算要求額
15億4,000万円	14億8,300万円

(内、硫黄島遺骨帰還等事業 7億1,100万円)  
(内、遺骨帰還促進のための情報収集関連事業 2億3,400万円)  
(内、旧ソ連地域の慰霊事業等 2億7,200万円)

《主な内容》

- \* 遺骨帰還等地域 (13地域)
- ①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマーク・ソロモン諸島、④インドネシア、⑤パラオ、⑥沖縄、⑦硫黄島、⑧モンゴル、⑨ハバロフスク、⑩沿海、⑪イルクーツク、⑫ザバイカル、⑬カザフスタン共和国

\* 海外未送還遺骨情報収集事業

\* 慰霊巡拝 (12地域)

- ①フィリピン、②東部ニューギニア、③マリアナ諸島、④トラック諸島、⑤マーシャル・ギルバート諸島、⑥インド、⑦中国、⑧硫黄島、⑨ハバロフスク、⑩沿海、⑪アムール、⑫カザフスタン共和国

\* 慰霊碑の補修等 (5カ所)

補修調査 ①樺太、②モンゴル

補修工事 ①ペリリュー島、②ウエワク、③ラバウル

\* 戦没者慰霊碑維持管理 (15カ所)

\* 遺骨の伝達等

\* 戦没者遺骨に係るDNA鑑定

(2) 戦没者遺児による慰霊友好親善事業

本年度予算額	概算要求額
2億8,300万円	2億8,300万円

(内 訳)

\* 広域地域 14地域 → 14地域

\* 特定地域 3地域 → 3地域

\* 人員

広域 792人及び → 広域792人及び

特定地域 108人 → 特定地域108人

内、民間建立慰霊碑等整理事業

1,100万円 → 1,100万円

(3) 昭和館の運営費

本年度予算額	概算要求額
4億3,100万円	5億100万円

(4) 全国戦没者追悼式挙行経費

本年度予算額	概算要求額
1億3,500万円	1億3,500万円

(1県当たり国費参列者50人の2,350人)

# 組織の継承・特弔継続の課題など協議

## 中国・四国ブロック遺族会会議

中国・四国ブロック遺族会は九月十二日、日本遺族会から森田次夫、増矢稔両副会長、畔上和男専務理事を迎え、平成二十五年度ブロック会議を高知市内で開催した。

会議には、中国・四国各県の会長、遺児代表、女性部長、事務局長ら五十名が参加、組織の継承問題など各県から提出された諸課題について意見を交わした。

会議は午後二時に開  
会。英霊に黙祷を捧げた  
後、中内桂郎高知県遺族  
会会長が開催を代表し  
て挨拶。続いて来賓とし

てご臨席をいただいた尾  
崎正直高知県知事、森田  
英二県議会議長からご祝  
辞をいただいた。

尾崎知事は「先の苛烈

な大戦から六十八年が経  
過しようとしている現在  
の日本だが、ご遺族の皆  
様が次第に高齢化してい  
る中で、この厳しい体験  
を後世に如何につないで  
行くかが大きな課題で  
す。私は全国で二番目に  
若い知事ですが、昨日、  
一番若い三重県知事とお  
会いし、「若手の知事だか  
らこそ、私共も遺族会活  
動に参加させていただけ  
く。八月十五日の全国戦  
没者追悼式に出席し、戦  
没者を慰霊し感謝の誠を  
捧げることが大切だ」と  
話しました。私は必ず参  
列させていただきます。祈りを  
捧げています。若い者で  
あるからこそ参列し、こ  
の姿勢を更に若い人たち  
に示していくことが大切  
であると考えます。ご遺

族の方々が如何に苦勞さ  
れたか、しっかりと伝え  
なければなりません。浮  
かれがちな世の中だから  
こそ、大事なことだと思  
います」と挨拶をいただ  
いた。

次に、森田日本遺族会  
副会長が「遺族運動の柱  
は英霊顕彰と遺族処遇改  
善ですが、ご遺族の処遇  
は何時かは終わる有限な  
ものです。しかし、英霊  
顕彰は未来永劫、これか  
らも続けて行かなければ  
なりません。我々の時代  
でこの遺族会を終わらせ  
てはならない。大変難し  
いことですが、しっかりと  
後継者を作っていくかな  
ければなりません」と、  
各遺族会の一層の努力を  
要請した。

次に、今夏の参議院  
選挙で中国・四国プロ  
ック遺族会が支援し当選さ  
れた衛藤晟一参議院議員  
(総理補佐官)の柴原秘  
書からお礼の挨拶をいた  
だいた後、中内高知県遺  
族会会長が議長に就任

し、議事の審議に入った。  
先ず、英霊顕彰並びに  
処遇改善運動の経過と今  
後の課題について、畔上  
日本遺族会専務理事から  
情勢報告を受けた。参加  
者からは、平成二十七年  
に最終償還を迎える特別  
弔慰金について、継続・  
増額運動だけではなく、  
①募守りをしていない人に  
支給できないか、②戦没  
者と一年以上計関係をも  
有した者という支給条件  
を緩和できないか等、要

望が出された。  
この要望に対し、日本  
遺族会から「今迄でも特  
別弔慰金の継続の度に随  
分議論してきました。昭  
和四十年、最初の制度を  
作る際、遺族会は祭祀料  
という形で支給してほし  
いと要望したところであ  
ります。しかし、内閣法  
制局から「国が祭祀料を  
出すのは憲法違反に当た  
る」との考えが示された  
ことから、終戦二十周年  
を緩和できないか等、要

## 秋の岡山県戦没者慰霊祭

### 遺族・来賓多数参列のもと ご英霊に感謝の誠を捧げる

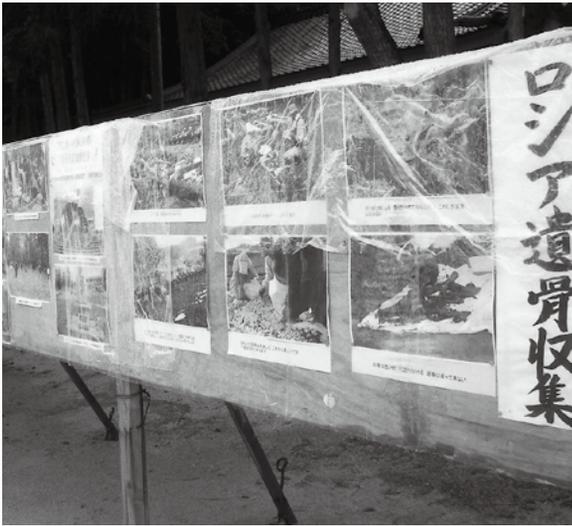


参列者に挨拶する伊原木県知事  
(10月5日：岡山県護国神社)

ど奉納行事が催された。  
五日に執り行われた岡  
山県戦没者顕彰会(会  
長・渡辺英気県議会議  
長)主催による県戦没者  
慰霊祭には、伊原木隆太  
岡山県知事をはじめ、国  
會議員、県議會議員ら  
各界代表多数が参列。神  
前に玉串を捧げ、国難に殉  
じた郷土出身戦没者の御  
霊をお慰めし、平和希求  
をお誓いした。また、翌  
六日には県護国神社秋季  
例大祭がしめやかに執  
行された。

明治から先の大戦にわ  
たり尊い命を国に捧げら  
れた郷土出身戦没者五万  
六千七百十八柱の御霊を  
お祀りしている岡山県護  
国神社で、十月五日、六  
日の両日、恒例の秋季戦  
没者慰霊行事が執り行わ  
れた。朝からあいにくの  
雨模様ではあったが、県  
下各地から約千人が参  
列。備中神楽、華道及び  
書道展、吉備舞、陸上自  
衛隊隊員による銃剣道な  
慰霊行事にあわせて護国  
神社御創立百四十年記念  
事業の奉賛募金活動や慰





霊巡拝・遺骨収集写真展を行うと共に、県下各遺族会の女性部員から寄せられた千羽鶴を護國神社に奉納した。

- 岡山県知事 伊原木隆太
岡山県議会議長 渡辺 英気
国会議員 逢沢 一郎 (代理)
平沼 赳夫 (代理)
加藤 勝信 (代理)
阿部 俊子 (代理)
橋本 岳 (代理)
山下 貴司
池田 道孝 (代理)
津村 啓介 (代理)
柚木 道義 (代理)
片山虎之助 (代理)
石井 正弘
岡山県議会議員 古山 泰生
岡崎 豊
小田 圭一

岡山県遺族連盟では老人福祉事業として、毎年九月の「敬老の日」を中

百歳の長寿達成ご遺族 県下15遺族会で23人

心に、今年百歳(大正二年生まれ)になられたご遺族に記念品を贈り、長寿をお祝いしている。

今年、めでたく百歳の長寿を達成されたご遺族は次の皆様です。今後と

- 岸本 清美
蓮岡 靖之
波多 洋治
浅野 實
岡山県町村会会長 河島 建一
(久米南町)
市町村長 花房 昭夫 (奈義町)
市町村議会議長 小椋 晶志 (鏡野町)
岡本 良一 (勝央町)
井戸 賢一 (奈義町)
市町村議会議員 松島 重綱 (岡山市)
和氣 健 (〃)
水田 喜富 (鏡野町)
岡山県神社庁副庁長 藤山知之進
岡山市連合婦人会副会長 小松原洋子
岡山県偕行会会長 鳴海 榮

- も幾久しくお元気でお暮らしたいただきますよう祈念いたします。
\*井原市芳井町川相 北川シゲ子さん(母)
明治45年7月22日生
\*津山市神戸 橋本はなよさん(妻)
大正元年9月30日生
\*美作市市北 道信スエノさん(妻)
大正元年12月17日生
\*新見市哲多町成松 赤木 琴恵さん(妻)
大正2年1月3日生
\*赤磐市神田 塩見 君子さん(妻)
大正2年1月20日生
\*瀬戸内市邑久町尻海 森景 春子さん(妻)
大正2年1月28日生
\*津山市材木町 易 年子さん(妻)
大正2年2月7日生
\*倉敷市北畝 乙須 タエさん(妻)
大正2年2月19日生
\*倉敷市玉島阿賀崎 堀 幾さん(妻)
大正2年3月15日生
\*新見市哲西町矢田 寺奥 春子さん(妻)
大正2年3月17日生
\*倉敷市徳芳 光畑 綾美さん(妻)
大正2年3月20日生
\*美作市後山 広畑たけよさん(妻)
大正2年3月25日生
\*岡山市東区松新町 西崎 輝子さん(妻)
大正2年4月12日生
\*総社市中央 中村 一枝さん(母)
大正2年7月20日生
\*倉敷市中庄(総社市) 大木 桂子さん(妻)
大正2年8月12日生
\*倉敷市玉島柏島 浅沼 正代さん(妻)
大正2年8月26日生
\*総社市小寺 高杉喜和女さん(妻)
大正2年9月1日生
\*倉敷市児島下の町 片山 まささん(妻)
大正2年9月24日生
\*久米郡美咲町錦織 黒瀬 光子さん(妻)
大正2年9月24日生
\*笠岡市大河 塩飽 菊代さん(母)
大正2年10月15日生
\*岡山市北区旭本町 小玉 栄さん(妻)
大正2年11月10日生
\*岡山市南区内尾 佐藤 富さん(妻)
大正2年11月30日生
\*岡山市東区長沼 佐藤 瓢さん(妻)
大正2年12月15日生



# 戦没者遺族相談員

任期：平成25年10月1日～平成27年9月30日

担当区域	氏名	郵便番号	住所	電話番号
県下全域	岸本 清美	708-1214	津山市上野田89	0868-29-1586
岡山市岡山	須々木壽志	701-2154	岡山市北区原980	086-228-2001
岡山市西大寺	坂根 弘子	704-8104	岡山市東区富崎258-2	086-942-3236
岡山市北	人見 信一	701-1144	岡山市北区栢谷1139-1	086-294-5340
岡山市南・岡山市灘崎	佐藤 喜義	701-0205	岡山市南区妹尾3928	086-281-1571
岡山市御津・岡山市建部	佐々木征治	709-2122	岡山市北区御津吉尾1327-1	0867-24-2066
岡山市上道・岡山市瀬戸	高橋 生人	709-0841	岡山市東区瀬戸町万富598-6	086-953-0093
倉敷市倉敷	難波 慶行	710-0804	倉敷市西阿知町新田448-1	086-465-4558
倉敷市倉敷	藤原 信子	710-0031	倉敷市有城268	086-429-1990
倉敷市児島	石原 育子	711-0904	倉敷市児島唐琴1-12-7	086-477-5246
倉敷市玉島・倉敷市真備	平田 晶三	713-8121	倉敷市玉島阿賀崎2-6-35	086-526-0083
津山市	大塚 邦久	709-3906	津山市加茂町小中原43-1	0868-42-2533
玉野市	近藤 紀男	706-0315	玉野市後閑224	0863-41-3479
笠岡市	秀平 良子	714-0021	笠岡市園井1855	0865-63-2238
井原市	田邊 隆則	714-2104	井原市芳井町花滝1014	0866-73-0290
総社市	服部 剛司	719-1101	総社市奥坂80	0866-99-9459
高梁市	大月 健一	716-0204	高梁市川上町領家1856	0866-48-3181
新見市	小豆澤 隆	719-3611	新見市神郷下神代1263-4	0867-92-6504
備前市	小長 琢幸	705-0014	備前市新庄376	0869-66-9498
瀬戸内市	高原 能夫	701-4222	瀬戸内市邑久町豊安321-6	0869-24-7215
赤磐市	岡本 忠司	701-2521	赤磐市黒本436-1	086-954-1236
真庭市・真庭郡新庄村	勘藤 光昭	717-0024	真庭市月田2184	0867-44-3449
美作市・美作郡西粟倉村	岡本美智夫	707-0023	美作市平福203-3	0868-72-3732
浅口市・浅口郡里庄町	大島 靖幸	719-0254	浅口市鴨方町六条院東1686-1	0865-44-5604
和気郡	角南 和弘	709-0451	和気郡和気町和気173-10	0869-92-0496
小田郡	日置 彰雄	714-1227	小田郡矢掛町小田368	0866-84-8919
苫田郡	池田 和雄	708-0361	苫田郡鏡野町上森原444	0868-54-1843
勝田郡	黒田 晴義	708-1314	勝田郡奈義町荒内西32-1	0868-36-3407
久米郡	米本 吉憲	708-1546	久米郡美咲町大戸下253-3	0868-62-0343
加賀郡	浮森 孝雄	709-2661	加賀郡吉備中央町豊岡下998	0867-35-0577

## 悩み事・遺族処遇のことなどー 各地域の相談員へお気軽に相談して下さい。

戦没者遺族相談員の制度は、ご遺族の福祉向上を目的に昭和四十五年に厚生大臣（現厚生労働大臣）の業務委託事業として設置され、ご遺族からの相談に応じて指導・助言を行っていますが、このたび県内各地域の遺族相談員三十名が改選されました。

十月一日から二年間の任期でご遺族の相談業務にあたることになりました。

遺族処遇改善などの援助措置は逐次改正されており、県遺族連盟ではその都度、本紙や役員会等でお知らせし広報に務めています。すべてのご

遺族の皆様には周知できない場合もあります。遺族処遇改善の情報、更には生活上の悩み事などについても県内各地域に委託された相談員がいますのでお気軽にご相談下さい。



### 可愛い妹へ

海軍飛行兵曹長

三 上 春 治 命

昭和十九年十月十二日

台湾にて戦死

島根県邑智郡口羽村出身

二十二歳

安ちゃん、懐かしい御便り有難う。  
元気で産業戦士として踏み出した由、兄さんは心から祝福してやる。元来勝負好きな安ちゃんだから、少々の苦しい事辛いこと位、我慢して御国の為働くものと確信してゐる。

同封の金はほんのわずかだが、兄さんの心尽しの御祝と思って受取って呉れ。どんなに困難なことになつても、若さと意気で押通す。くよくよ考へたり嫌だと終始思つてやっていると、仕事に負けてしまふ。我々日本国民は、皇国（すめらみくに）に生を承ける喜びと誇りを持って、喜んで難事に当たつて行け。環境が変わつて窮屈なこと、やりにくいこと、又、急に親の下（もと）を離れて淋しい心等、邪魔する目に見へない敵はあるけれど、安ちゃんも三上家の子だ。兄さん達三人共、立派に軍人として御奉公してゐるのだ。

女でも兄達に、なに負けるものかと云ふ旺盛なる負けじ魂で掛つて行け。  
日本人である以上決して忘れていけない大君の御恩、そして父母の恩、いくら忙しくとも年老いてゐる父母は、口羽の土地から常に安ちゃんのことを心配して居られると謂うことを忘れず、余暇を利用して家に便りを出せ。（中略）

戦野の兄二人は、元気で居られるから安心してやれ。兄さんも、今では可愛い雛鷺の教育で忙しいが、至極元気だ。  
呉々も注意するが、自分の体を傷つけたら、之は大きな国家への不忠だから、充分気をつけて作業に当れ。仕事にやうやく馴れる時、心に大きな隙（すき）が出来る。大いに自重してやれ。  
末筆だが安ちゃんの健斗を祈る。  
可愛い妹へ

三重県鈴鹿海軍航空隊  
第十二分隊教員室 兄より  
【平成二十五年十月靖國神社頭掲示】

# 「父、田辺清夫と 岩崎大隊の皆様へ」

浅口郡里庄町

田辺 博樹

お父さん。私たちの大切な大切なあなたは、昭和十九年五月二十七日、ここインパール南郊のナンカローワイでの理不尽な攻撃命令により突撃、胸部貫通銃創を受けて文字通り血まみれの凄惨な最期を遂げられました。都志さんをはじめ非常に熱心な方々の手により我が岩崎大隊の詳細な大隊誌が二冊も刊行されておりますので、お父さん



父の遺影を胸に慰霊祭に臨んだ田辺さん  
(2月17日：日本軍戦没者慰霊碑)

の戦没地は公式にはボツサムバムとなっていますが、戦友の方々に調査いただいたナンカローワイで間違いないと思います。戦地で編成された所謂お客さん部隊であった岩崎大隊は、常に最前線の突撃隊として使われ、その度、ほぼ全滅に近い死傷者を出しています。大隊史によれば、インパール作戦終了時には七百五十名中、無傷は僅か十三名という悲惨な状態だったとのこと。

敵陣地の堅固さと火器の余りの違いを上申すると、「岡山部隊は腰抜けか！」と罵られ、ほぼ弾の飛んでこない安全地帯から上層部の指揮官たちから突撃命令を繰り返されたのです。正に虫けら同然の扱いです。何回目かの攻撃で遂にお父さんも被弾、還らぬ人となりました。

それは、ひたすら無謀な攻撃命令でしたが、兵隊であれば敵前逃亡は銃殺刑です、補給のない飢餓状態の中、彼の強硬命令に従い突撃させられ戦死された方、そして戦病死された方々を思うと無念やる方ない思いであります。

然るに戦後、はつきりとした責任追求は今だになされておりません。これで果たして英霊たちの魂は救われるのでありましょうか。戦後七十年近くになろうとしています。父を失った遺児の皆様と共にインパール作戦の検証をと念ずる者であります。岡山県出身の彫刻家・平瀬田中が言われた「今やらねば何時いづできる。わしがやらねば誰がやる」の気持で遺児

の皆様と一緒に再検証いたしましょう。そうでなければお父さんらの魂は浮かばれません。お父さんたちの死は一体何だったのか。このままでは誰からも忘れ去られてしまいます。

お父さん。お父さんの血を吸ったこの土を、インパールの地に迷うお父さんの魂として故郷へ連れて帰ります。どうぞ、この小さな瓶にお入り下さい。今から八年前、あなたと月も日も全く同じの五月二十七日にお母さんも亡くなりました。寂しくなりましたが、あなたの建てたあの家は今でもあなたを待っています。今から故郷へ帰りましょう。菌の二本生えかけた私を抱いたあの日のように、私もしっかりとあなたを抱いて帰ります。あなたの重い「うらみ、つらみ」を私の背中におぶって帰ります。いいですか。よいしょおー。

## アツツ島慰霊友好親善訪問団 追悼のことば

津山市山北

小島 一三

メートルの高原らしく、乾期はそれほど暑くもなく爽やかで、ブレザーとネクタイを着用しても汗をかくことはありませんでした。

慰霊祭を執り行っていたいただきましたロトパチンの日本軍戦没者慰霊碑はインパールの南郊約二十kmに建立されていますが、父の戦没地であるナンカローワイは、ここから南十五kmにあると近辺警護の兵士が教えてくれました。団体行動で次の航空便の都合もあり、そこまでは行くことは出来ませんでした。五月の後半は雨期になりますが、父の命日にあわせてナンカローワイを訪れてみたいと思います。

お父さんが戦死して七十年。やっと激戦の地アツツ島に来ることが出来ました。日本遺族会の計らいで墓参が叶い、深く感謝申し上げます。

お国のためとはいえ、極寒のアツツ島で命を投げ出して戦ったお父さんをはじめ戦友の皆様、さぞかし無念だったことでしょう。お父さん亡き後、母は小学校五年生の私を頭に五人の子供を育てあげ、平成二十二年九月九日、九十九歳の天寿を全うしました。存命中にこの地にお参り出来ず本当に残念だったと思います。今は天国でお父さんと再会し、昔話に花を咲かせていることと思います。

思い起こせば、私が小学校の三年生の時だったと思います。休暇で帰省したお父さんと一緒に過ごしましたが、お父さんが隊へ帰る際、私は弟と裏の吉井川で魚釣りをしていた見送ることが出来ませんでした。それが、お父さんとの今生の別れになるなんて夢にも思っていないませんでした。大変な親不孝をしたと後悔し

ています。幼い子供五人を残して戦場に赴いたお父さんの胸中、察するに余りあるものがあります。アツツ島守備隊長と見捨てた大本営」という記録を読みました。守備隊の山崎隊長が増援を要請したところ、大本営はアツツ島守備隊を見捨てることを決定して援軍も補給も送らず、守備隊からは何の要求も無かったと偽りの発表を行い、最後に至らば潔く玉碎し、皇国軍人精神の成果を発揮することを望むと玉碎命令を出しています。命令を受けた隊長は、怪我を負い歩けない者に自決を命じたとあります。何とも納得できない



玉砕の島・アツツ島での慰霊祭に臨んだ小島さん  
(8月31日)

戦争で散華された方々のお陰で今日の日本があります。二度とこのような戦いはしてはなりません。御霊の冥福を心よりお祈り致します。

平成25年8月31日  
小島忠義の遺児

# 旧ソ連地域慰霊友好 親善訪問に参加して

倉敷市水島北瑞穂町

藤本洋子

「参加して良かった」  
—慰霊友好親善訪問の旅は、その一言に尽きます。

団員ら十二人の皆さんと一緒にルチキ、ロカシエフカ、ハバロフスク、ピラカン、チェブローゼ、クリドール、イズベストコーワヤを巡る亡き父の墓参。目的地が直ぐ分かる場所もあれば、現地の



瀬戸内市から参加した柿本さん(左)と共に(9月12日:ハバロフスク市「日本人死者慰霊碑」)

は行けませんでしたが、クリドールの丘からテルマの地に向かって慰霊祭を執り行っていた皆さまは胸の奥につまっていたものが晴れたと言われていましたが、私も

同感です。私の思いは父に十分伝わったと思えます。今まで全く面識のない者同士でしたが、戦没者の遺児という只一つの接点から直ぐに兄弟姉妹のように親しくしていただき

ました。一緒に父の墓参ができた感激は口では言い表せません。いろいろとお世話をいただきました方々に深く感謝申し上げますと共に、全国の遺児の皆さんも是非、父の戦没地へお墓参りをして下さい。

# 秋の岡山陸軍墓地清掃

岡山市津高遺族会

久山泰一

岡山陸軍墓地秋季彼岸祭前の九月二十一日午前、津高遺族会の恒例事業である墓地清掃を会員

二十九名で行いました。今年も残暑厳しく全身汗びっしょり。参道の除草や生垣の剪定、木々の伐採など蚊に悩みながらの作業となりましたが、今年の夏、陸上自衛隊三

軒屋駐屯地の方々には墓地の清掃を行っていただき、今回は何時もより早く作業を終えることができました。自衛隊の皆様方のお心遣いに感謝する次第です。

また当日、遠方からお墓参りに来られたご遺族からお礼の言葉をいただき、五百二十七柱の御霊の冥福をお祈りしながら、皆、心洗われる気持ちで作業にあたりました。



平成25年9月21日 陸軍墓地清掃奉仕 津高地遺族会

清掃に汗を流された岡山市津高遺族会の皆さん(9月21日:岡山陸軍墓地)

# 遺族会の動き

## 平成二十五年九月行事表

- 1日 津山市遺族連合会靖國神社団参(東京方面) 二泊
- 8日 総社市遺族連合会靖國神社団参(東京方面) 一泊
- 9日 県戦没者秋季慰霊準備委員会(いさお会館)
- 12日 中国・四国ブロック遺族会会議(高知県) 一泊
- 13日 瀬戸内市遺族連合会女性部長会議(倉久町中央公民館)
- 16日 「敬老の日」県連盟老人福祉事業(一人暮らしの父母・妻慰問(県下))
- 17日 県連盟老人福祉事業/百歳遺族お祝(県下) 三日間
- 19日 赤磐市遺族連合会靖國神社団参(東京方面) 一泊
- 20日 高梁市成羽地区遺族会護國神社正式参拝(県護國神社)
- 24日 旧岡山陸軍墓地秋季彼岸祭(岡山市津高・旧陸軍墓地)
- 25日 玉野市戦没者追悼式(玉野市総合体育館)
- 28日 高梁市川面地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 28日 県連盟第二回財政問題特別委員会(県連盟会議室)
- 28日 浅口市戦没者追悼式(浅口市中央公民館)
- 岡山市藤田地区戦没者慰霊祭(藤田神社忠魂碑)

## 平成二十五年十月行事表

- 1日 笠岡市笠岡地区戦没者慰霊祭(吉祥院)
- 5日 県戦没者秋季慰霊祭(県護國神社)
- 6日 県護國神社秋季慰霊大祭(県護國神社)
- 7日 岡山市上道遺族連合会役員会(上道公民館)
- 8日 岡山県ビルマ会秋季大祭(岡山市・蓮昌寺)
- 10日 新見市神郷地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 11日 日遺支部事務局職員研修会(石川県 一泊)
- 倉敷市戦没者追悼式(倉敷市民会館)
- 津山市戦没者追悼式(津山総合体育館)
- 15日 新見市草間地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 17日 靖國神社秋季大祭(靖國神社) 20日まで
- 20日 笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 21日 新見市菅生地区戦没者慰霊祭(菅生遺族会館)
- 22日 新見市哲西地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 23日 赤磐市戦没者遺族大会(赤磐市立中央公民館)
- 笠岡市大井地区戦没者慰霊祭(大井公民館)
- 笠岡市新山地区戦没者慰霊祭(新山公民館)
- 笠岡市真鍋島地区戦没者慰霊祭(円福寺)
- 浅口郡里庄町遺族会護國神社正式参拝(県護國神社)
- 戦没者遺族相談員研修会(ビュアリーティまきび)
- 新見市熊谷地区戦没者慰霊祭(県護國神社)

## 平成二十五年十一月行事表

- 24日 新見市哲多地区戦没者慰霊祭(哲多総合C)
- 25日 新見市大佐地区戦没者追悼式(おおさ総合C)
- 久米郡美咲町戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 26日 総社市戦没者追悼式(総社市民会館)
- 28日 新見市石蟹郷戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 28日 新見市新見地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 29日 笠岡市今井地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 30日 英田郡西栗倉村支部戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 30日 笠岡市北川地区遺族会護國神社参拝(県護國神社)
- 31日 笠岡市城見地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 県連盟沖繩地域戦跡慰霊巡拝(「岡山の塔」戦没者追悼式(沖縄県) 二泊)
- 真庭市藤山支部(三ヶ村)戦没者合同慰霊祭(県護國神社)

## 平成二十五年十二月行事表

- 3日 笠岡市神外地区戦没者慰霊祭(神外忠魂碑)
- 6日 県連盟常任理事会(いさお会館)
- 7日 新見市豊永地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 8日 瀬戸内市戦没者追悼式(ゆめトピア長船)
- 10日 岡山市瀬戸遺族連合会役員研修旅行(京都府方面)
- 10日 津山市高田地区戦没者慰霊祭(高田神社)
- 11日 笠岡市大島地区戦没者慰霊祭(寄島町・龍城院)
- 12日 倉敷市遺族連合会研修旅行(兵庫県方面)
- 14日 新見市遺族連合会靖國神社団参(東京方面) 二泊
- 16日 岡山県戦没者遺族代表者大会(岡山衛生会館)
- 17日 美作市戦没者追悼式(美作文化C)
- 17日 笠岡市白石島地区戦没者慰霊祭(白石忠魂碑)
- 18日 日遺女性部研修会(東京都内) 一泊
- 20日 笠岡市神内地区遺族会護國神社参拝(県護國神社)
- 28日 県連盟女性部第一回研修会(広島県方面)
- 30日 県連盟第三回財政問題特別委員会(県連盟会議室)
- 19日 全国戦没者遺族大会・国会陳情(自由民主会館)

各遺族会では定期的な会合や色々な催しを行われていると存じますが、催しのことや皆様の声を記事にまともにご投稿下さい。本紙に掲載し広く会員の皆様にご紹介させていただきます。(写真があれば、あわせて送付願います) また、短歌、詩、俳句、川柳などをお詠みになる方は是非、傑作をお寄せ下さい。

編集者